

皆さん、こんにちは。

私は日本坩堝の代表取締役会長の岡田民雄でございます。本日、私どもの上海代表処の開処式に当たり、中国における当社代理店であります 4 社の方々、すなわち、上海照炎貿易有限公司の郭伊軍総経理、毅豊実業有限公司の張彦波総経理、天津瑞東貿易有限公司の侯春光総経理、沈陽金安鑄造材料廠の張健総経理の皆様には遠路お越しいただき、ありがとうございます。それに、当社合弁会社である正英日坩工業燃焼設備（上海）有限公司の楊希放総経理をはじめ、鐘権副総経理、楊希鎮、蔣建明、梁文淵、大勢の方、並びに当社アドバイザーの植田史郎さんと奥さんにもお越しいただき、ありがとうございます。

厚くお礼申し上げます。

私は、本日、ここにお集まりの皆様を私の家族、ファミリーと考えております。お陰様で皆様がお互いに仲良くお付き合いいただいている様子を拝見し、私は大変嬉しく思っております。

私は、社長に就任した時から中国ビジネスを始めたいと考え、佐野が直接に面接し、中国出身の唐克威君に入社してもらいました。彼の努力により、中国ビジネスを発展させてくれました。私は 1996 年に唐君が日本坩堝に入社した時からこの日を迎えることを本当に心待ちにして参りました。

沈陽金安鑄造材料廠の張健総経理には申し訳ございませんが、私は寒いところが嫌いなのであります。そのため、唐君とはいつも代表処を出すときには、暖かい上海が良いなあと話しておりました。幸い正英日坩が上海にあった事もあり、その近くであるここ上海に開設できた事を、私は有り難く思っております。

中国の鉄鋼、鑄鉄、ダイカストの生産量は現在世界一であります。私は 3 年ほど前に中国鑄造学会に入会して、中国について勉強し、中国は偉大な国であることを知りました。

その中国に日本坩堝の中国代表処を本日、2009 年 1 月 8 日に開設できること、私にとって大きな喜びであり、また誇りでもあります。中国では「8」は縁起の良い数字と聞いております。それに「1」が加わりますと、更に良いそうですね。皆様も是非、この 1 月 8 日を覚えておいて下さい。

唐代表にはこれまで同様、日本から輸出している坩堝に加えて、正英日坩で製造しているメルキーパー（美炉奇派）と、鉄鋼、鑄鉄、アルミ用不定形耐火物の販売を促進すること、更に中国の原料や優れた製品を探し出し、日本に輸出することを指示しています。もちろんこれらのことを全て彼一人ではできませんので、日本からそれぞれの分野の専門の人を応援に出します。

今は世界同時不況と言われております。中国も当然不況だと思います。そういう時期に私は敢えて代表処を開設することに決定致しました。その理由は「苦勞して育った子は将来必ず強くなる」と信じているからであります。

どうぞ家族である皆様のお力でこの子が強く育つよう、ご支援のほどお願い申し上げます。本日は誠にありがとうございました。 謝々